

名張警察署協議会議事録

令和4年度第3回名張警察署協議会	
日時 場所	令和4年12月9日（金）午前10時00分～午前11時20分 名張警察署3階会議室
出席者	<p>1 警察署協議会委員 7名 伊集基之委員、井上悦子委員、奥村和子委員、神山幸久委員、坂浦英明委員、田川敦子委員、中川智生委員</p> <p>2 警察署 8名 署長、副署長、会計課長、警務課長、生活安全課長、刑事課長、地域課長、交通係長</p>
傍聴者数	なし
公開・非公開の別	公開
議 事 概 要	
<p>1 警察署協議会会長挨拶</p> <p>2 警察署長挨拶</p> <p>3 管内の治安情勢等（警察署長）</p> <p>（1）令和4年中における管内の治安情勢</p> <p>（2）行方不明者の発見事例紹介</p> <p>4 交通安全危険予測シミュレーターの体験</p> <p>5 協議内容</p> <p>（1）行方不明者の捜索活動について</p> <p style="margin-left: 2em;">＜委員＞ 名張市では、過去の経験を踏まえ、「地域SOSシステム」というシステムを構築しているのでこの場を借りて紹介したい。地域SOSシステムによるネットワークのおかげで、高齢者等の行方不明の捜索については、地域のまちづくり協議会の会長が中心となり、各地区の市民センターに住民が集まって、警察や消防、消防団等と役割分担をして対応することになっている。</p> <p>（2）冬季における警察の諸対策について</p> <p style="margin-left: 2em;">＜委員＞ 本格的な冬シーズンを迎えるに当たり、警察としてはどんなことをしているのか、教えてほしい。</p> <p style="margin-left: 2em;">＜委員＞ 凍結した歩道に凍結防止剤を撒いて欲しい場合はどこに連絡すればよいか。</p> <p style="margin-left: 2em;">【署長】 年末には防犯活動として巡回するパトカーを増やし、金融機関やコンビニエンスストア等の警戒活動を強化している。交通事故防止対策としては、飲酒運転をはじめとする交通違反の取締りを強化している。また、深夜に少年が、い集しやすいコンビニエンスストアやカラオケ店等においては、少年補導活動を積極的に実施している。</p> <p style="margin-left: 2em;">【地域課長】 日没の時間がかなり早くなってきたので、パトカーの前照灯や赤色灯を早めに点灯させ、顕示性の高い活動を実施している。</p> <p style="margin-left: 2em;">【交通係長】 道路の凍結対策は各道路管理者になるので、名張警察署管内の国道と県道は三重県土木事務所、市道は名張市役所がそ</p>	

れぞれ担当となる。

名張警察署に連絡をもらえれば、各道路管理者に連絡して対応を依頼する。

(3) 前回の協議会で要望した事項への対応について

<委員> 前回の協議会で、錦生地区の国道165号で信号無視をする車両が多いということで取締り要望をさせてもらったが、地元から「早速、対応してもらった」との話を聞いた。

前回、実演してもらった防犯講話の派遣についても要望したところ、来年1月に実施してもらえることになったので、それぞれ要望に応じていただき感謝する。

(4) 行方不明者の捜索に関する情報の手配について

<委員> 先日の高齢者の行方不明事案を受けて、警察から行方不明者手配の情報をもらう手段として、電子メールが活用できないかと考えている。

警察側で問題がなければ、今度、新聞社と各新聞販売店の集まる会議があるので、そこで協力要請をしたいと考えている。

(5) 交通安全危険予測シミュレーターについて

<委員> このシミュレーターを若い人をはじめとして幅広い人に体験してもらえる機会を作ってもらいたい。

(6) 犯罪発生状況等の情報発信について

<委員> 特殊詐欺等の犯罪情報について、メールマガジン等で目にする機会があるが、意外と頻繁に犯罪が発生していると感じる。犯罪に対する知識があれば被害に遭う可能性も少なくなると思うので、電子メール等も活用して、積極的な情報発信をしてもらいたい。

<委員> 年末年始になぜ犯罪が増加しやすいのか。

【署長】 特殊詐欺については、海外に拠点を設けていることが多く、検挙に結びつかないケースも多いのが実情である。

捜査活動は継続しているので、引き続き住民の理解とご協力をお願いしたい。

年末年始に犯罪が増える傾向があるのは、帰省等により住民不在の家屋が増える上、普段よりも多額の現金が家に置かれていることが考えられる。

【生活安全課長】 特殊詐欺は必ず犯人側から接触があり、接触の手段は主に電話やメールである。

電話やメールでお金の話が出てきたらまず怪しいと考えてほしい。

市役所や各地区の住民と連携した防犯対策を推進するとともに、各金融機関やコンビニエンスストアと連携した水際対策も並行して実施している。

(7) 団地内における道路の危険性と交通安全施設の新設について

<委員> 団地内において抜け道として利用されている道路は、多くの歩行者が横断する場所がある。

しかし、横断歩道の新規整備には至っていないのが現状である。

地域が連携を強化し、住民一人一人が運転手側と歩行者側の両方の立場で十分気をつけないといけないと思う。

6 警察署長挨拶

備	考
---	---